



横須賀市陸上競技協会

競技会実施ガイドライン

【第2版】2021年2月27日（土）

陸上競技界からクラスターを発生させない！

～新型コロナウイルス感染拡大を防止し、競技会を継続して開催するために～

このガイドラインは、日本陸上競技連盟が策定した「陸上競技活動再開のガイダンス」に準じ、当協会が「不入斗公園陸上競技場」を使用して競技会を実施することを想定して策定しました。

新型コロナウイルス感染拡大の収束の兆しが見えない中ではありますが、競技者の皆さまが安心して競技会に参加できるように、このガイドラインに沿って競技会を運営してまいります。競技者、指導者、そして競技役員のお皆さまにおかれましても、各自で十分な感染拡大防止対策を行ったうえでご参加いただければと思います。

1 競技会開催の前提条件

～陸上競技活動再開のガイダンス「競技会開催について（第2版／2020年8月11日改訂）」
（日本陸上競技連盟）より抜粋～

【競技会開催の前提条件】

1. 緊急事態宣言の解除
 - ① 移動制限の解除
 - ② 不要不急の外出自粛の解除
 - ③ 店舗営業自粛の解除
 - ④ 学校において部活動が認められている（※高校生以下の競技会の場合）
2. 競技会開催を管轄する自治体からイベントの開催が認められている
3. 大会開催都市もしくは地域において、新型コロナウイルス感染症に関する診療体制が整っている
緊急時の後方支援病院（※1）がある

※1 後方支援病院とは

緊急時においてもスムーズに受診できるよう保健当局との間であらかじめ整えてある医療機関。感染者および感染疑い者が発生した場合に、対応可能な医療機関を事前に定めておくことが重要である。

4. 競技会に関わる全ての人（審判員・競技者・コーチなど）の健康状態の管理体制を整える
（開催1週間前の体調管理および検温の報告義務、および終了後2週間の体調管理・検温の義務）
5. 陸上競技活動再開についてのガイダンス「競技会開催について」に沿った競技会運営をする

2 競技会開催にあたっての基本的注意事項

(1) 3密（密閉空間・密集場所・密接場所）を回避する。

★不入斗公園における上記の対象と想定される場所

事務所下トイレ 多目的トイレ 器具庫 写真判定室 各団体待機場所 招集所
フィニッシュライン前方 記録掲示場所 本部ダッグアウト内 フィールド種目の待機テント

◆競技役員の実行

- ① ソーシャルディスタンス（約2m）を確保する。
 - ・控室では最小限の机、椅子の利用でソーシャルディスタンスを確保する。
 - ・密が発生しないよう競技者をコントロールする。
 - ・フィールド競技の練習は、一人ずつの呼び出しを行い、準備している競技者の間隔確保を監視する。
 - ・競技結果や番組編成等は掲示場所を増設し密を避ける。
- ② 開・閉会式や種目表彰は実施しない。
- ③ 写真判定室、器具庫、更衣室等の換気を行う。

◆競技者の実行

- ① 三密を避ける、ソーシャルディスタンスを保つような行動を徹底する。
 - ・テントで待機する人数を少なくし、人との距離を2m程度保つよう工夫する。
 - ・スタンド利用時は椅子を一つおきに使用するなどし、密集をさける。
 - ・施設内のシャワーの使用は禁止する。
 - ・更衣室の利用は更衣のみとし、区画されたスペースを一人で使用する。スペースがすべて使用中の場合は部屋の外で待機し、空きを待って使用する。更衣が終わった者は速やかに退出し、待機者と交替すること。
 - ・ウォーミングアップは個別に行う。（集団で行わない。）
- ② 集合時間をできる限りずらしたり、各自の競技終了後、速やかに帰宅するなどの工夫をする。

(2) 感染症対策

◆競技役員の実行

- ① こまめに手洗いまたは手指の消毒を行い、手を清潔に保つ。
- ② マスクを着用し、咳をする際には、咳エチケットにより飛沫を飛ばさないようにする。
- ③ 会場でコロナウイルス対策を積極的にアナウンスする。
- ④ 使用場所や使用器具等の消毒・清掃を行う。
- ⑤ マスクの着用、眼からの飛沫感染を防ぐための眼鏡またはサングラス、使い捨ての手袋などを準備する。
- ⑥ 競技者との接触を減らす工夫をする。
- ⑦ 発熱者がでた場合は、関係機関へ相談をし、顧問・保護者と連携をとり、速やかに帰宅させる等の対応をする。
- ⑧ 65歳以上の方や基礎疾患を持っている競技役員は、出席の可否についてご自身で判断していただく。

◆競技者の取組

- ① 運動時や体調不良時（熱中症など）を除き、マスクの着用を義務とする。競技者にはレース（試技）中のマスク着用を義務づけない。招集中、移動中、待機中は熱中症に気を付けながらマスクを着用することとする。
- ② 手洗い・手指の消毒、洗顔を徹底する。（競技用具使用后など）
- ③ 手・手指の消毒を行うための消毒液を用意すること。
- ④ ゴミは持ち帰りとする。特に体液の付着したゴミは袋に入れて処理するなど注意を払う。
- ⑤ 保護者や家族、卒業生などの応援者の来場ができないことを関係者に周知する。競技場へ来場できるのは原則、出場する競技者のみとする。
- ⑥ 声を出しての応援、集団での応援を行わない。
- ⑦ 体調管理を万全にする。

（3）主催者としてすべきこと

- ① 競技会開催地および医療機関の協力を得る。
- ② 3密を解消する工夫を徹底する。
- ③ 多くの人が頻繁に触れる箇所を清掃・消毒し、環境を清潔に保つ。
- ④ 競技会に関わるすべての人に競技会開催地の新型コロナウイルス感染症に関する状況を伝える。

（4）競技会に関わる全ての人（競技者・チーム関係者・大会競技役員など）がすべきこと

- ① 3密を避けて行動することを徹底する。
- ② 体調管理を徹底する。
- ③ 競技会終了後、2週間以内に発熱などの症状があった場合には最寄りの保健所、診療所（かかりつけ医等に相談後、必ず大会主催者に報告する。
- ④ 連絡先の把握の必然性
大会主催者が全ての人との連絡先を把握することで不特定多数ではない状態を作ることが重要である。また感染者が発生した場合に、保健所から大会主催者に対して、感染者本人及び濃厚接触者等への連絡をする為に、連絡先の提供を求められる場合があるので、必ず把握するようにする。

（5）競技場に入場できるのは、原則、競技者・顧問（指導者）・競技役員のみとする。観戦のために、保護者・家族・卒業生等が入場することを禁止する。ただし、中学校・高等学校においては、生徒役員・待機場所の荷物管理としてそれぞれ2名程度の入場を認める。ただし、競技者と同様に「様式1」「様式2」を顧問本部に提出すること。

3 競技会実施（当日）の流れ

競技会前（競技会前日まで）

競技会に参加する全ての人（競技者・顧問・競技役員）は競技会に参加するために、競技会1週間前からの体調管理を義務とする。

- (1) 中学校・高等学校の顧問および陸上スクールの指導者は、「大会前：新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシート」＝様式1と「競技者の健康状況チェックシート及び参加確認書」＝様式2を配布する。個人参加者は各自で用意する。
- (2) 様式1に健康状態を記入する。
- (3) 中学校・高等学校については、各校顧問が責任をもって、チェックシートへの記入を指導する。

※様式1および様式2は横須賀市陸上競技協会のHPよりダウンロードできます。

競技会当日の朝

- (1) 小学生・中学生・高校生の保護者は、生徒の健康状態を確認した後、「様式2」に必要事項を記入し、参加承諾の署名と押印をする。
- (2) 個人参加（社会人・大学生）の競技者は、「様式2」各自で作成し持参する。
- (3) 各校顧問および陸上スクールの指導者は、記入済みの「様式1」「様式2」を生徒から回収し、内容を確認し（保護者印など）、保管をする。体調につぎの点や、その他不安のある生徒・児童がいた場合は、大会参加や競技場滞在を認めず、家庭と連携を取り帰宅させること。

★参加や競技場滞在を認めないケース

- ・大会当日を含み、大会1週間前から37.5度以上の発熱がある。
- ・【様式1】にチェックした項目が1つ以上ある。
- ・【様式2】にチェックがない項目がある。
- ・その他、顧問が体調不良を理由に判断した場合。

- (4) 競技役員も競技者と同様に、「大会前：新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシート」＝様式1で体調管理を行い、結果および当日の朝の体調がすぐれない場合は、競技役員として競技会への参加を控えること。なお、「様式1」を役員受付時に提出すること。
- (5) 2日間開催の競技会では、2日目についても同様の対応をする。

競技場への入場時

- (1) 各校は、各々の競技開始時刻などで分散して来場するような工夫をする。
- (2) 開門を待つ場合、他校生徒との距離を十分に保って待機をする。待機者が増え密になる場合は、競技場内に誘導し待機させる。(待機場所の準備が整わない場合)
- (3) 各校の待機場所はあらかじめ決められた区画内を使用する。待機場所は主催者の事前抽選で決定する。(HP で事前に連絡する)

★待機場所の区画の考え方

- ① スタンドの 1 ブロックの半分 を 1 区画とする。
- ② 20 ブロックのうち、本部ダッグアウト横の 3 ブロックはフリーエリアとし、17 ブロック×2=34 区画を各校の待機場所とする。
- ③ スタンド後方のエリアは写真判定室付近と水道付近を除く部分を開放する。(32 区画)
- ④ 当日の参加人数により使用できる区画を割り当てる。
 - ・ 20 名以上…2 区画
 - ・ 20 名未満…1 区画
 - ・ 5 名未満…フリーエリアを利用

★時程例

- 6:30 協会理事集合・打ち合わせ
6:45 様式 2 回収・待機場所区画分け準備
8:00 開場

競技会前の準備

- (1) 競技会前の準備は、原則、競技役員および各校顧問によって行う。ただし、次の準備に限り、高等学校の生徒にも協力を願う。※中学生は準備に参加をしない。
 - ① 本部ダッグアウト内 横須賀総合高・三浦学苑高・津久井浜高
 - ② 写真判定 横須賀高
 - ③ 走幅跳・三段跳 横須賀学院高・三浦初声高
 - ④ 走高跳・棒高跳 湘南学院高
 - ⑤ 投てき 追浜高・各校投てき種目参加者
 - ⑥ テント 逗子高・逗葉高・逗子開成高・横須賀工業高・修悠館横須賀高
- (2) 準備中は原則、マスクを着用する。準備終了後は手洗いを徹底する。
- (3) 新型コロナウイルス感染症対策で次の準備をする。
 - ① 消毒液 □本部席 □フィニッシュテント □写真判定室 □器具庫 □トイレ出入り口
 - ② ハンドソープ □水道各所
 - ③ 医務員用の消耗品
- (4) 各校顧問および陸上スクールの指導者、個人の参加者は、回収した「様式 2」を本部に提出する。
※開場後、競技会途中で来場した場合でも、朝と同様の流れで「様式 2」を本部に提出する。
※「様式 1」は各校で保管する。

(1) 競技場の使用について

- ① 競技エリア（トラック・フィールド内）とウォーミングアップエリア（緑色の部分）に入れるのは、**競技者、競技役員、生徒役員のみとする。**
- ② 応援はスタンドのみとする。ただし、声を出しての応援は禁止する。
- ③ ウォーミングアップはホームストレートの外側を除き、トラックの周りの部分全てを利用する。密を避けるため、エリアを限定しない。

(2) 招集について

- ① 当日欠場する場合、競技会開始の1時間前までにその旨を本人もしくは代理人が**本部**に報告する。
※本部に欠場者の報告窓口を設置し、競技進行係が集約をする。
※円滑な競技運営を行うために、特に中学校、高等学校には報告の協力を要請する。
※欠場の事前連絡は「競技者の協力事項」とし、最終的な欠場（DNS）の判断は、各種目の集合時刻の確認とする。（事前に欠場の連絡をしたが、集合時刻に出場の意思を示した場合は出場させる）
- ② 決められた時間（プログラムに記載）に競技場所へ集合し、現地でチェックを受ける。決められた時間に競技場所にいない競技者は当該競技種目を欠場したものと処理する。
※密集・密接を避けるため、通常の招集（第1次コール）は行わない。
- ③ リレーについてはプログラム記載の時間までにオーダー用紙を本部へ提出する。
※記録情報員で集約をする。
それ以降は②のとおり、各競技場所でチェックを受ける。
- ④ **腰ナンバーは各自で無地の布を用紙し、当日、プログラムでレーンナンバーを確認した後、作成する。（太めの黒マジック、腰ナンバー用の安全ピンを用意する。）**
※集合時刻での確認時に、アスリートビブスや腰ナンバーに不備があった場合、その組のスタートに間に合うようであれば待機場所に取りに戻るなどの対応をさせる。

(3) 競技結果の掲示場所を次の3か所に増設する。

- ① フィニッシュ地点前方のスタンド脇スペース（通常の掲示場所）
- ② 100m スタート地点後方のスタンド脇スペース（通常の招集所がある場所）
- ③ 本部ダッグアウトの後ろ（普段使用しない入退場口がある場所）

(4) 生徒役員について

生徒役員係は生徒役員として参加した生徒の氏名を控える。

競技会開始後【トラック種目】

(1) 競技者集合からスタートまでの流れ

- ① 出発係がスタート準備の完了をトランシーバーで連絡する際に、欠場レーンを読み上げ、出場する合計人数を確認し報告する。各部署は欠場レーンを確認する。

※トランシーバー保有部署

競技進行係 審判長 アナウンサー 写真判定員 決勝審判員 出発係

- ② 写真判定員からの準備完了の合図でアナウンサーがファンファーレを流す。その後、欠場レーンを読み上げ、出場人数をアナウンスし、全体で共有する。
- ③ 欠場レーンや出場人数に誤りの可能性がある場合は、トランシーバーでスタートを止める。

(2) 2～3 組ずつスタート地点に誘導し、待機場所にゆとりを持たせる。

★集合時刻とスタート地点への誘導時刻の例 ～競技開始時刻 10:00 の 100m (12 組) の場合～

	集合時刻	誘導時刻
1～3 組	9:45	9:55
4～6 組	9:55	10:05
7～9 組	10:05	10:15
10～12 組	10:15	10:25

※1～3 組の集合時刻を競技開始時刻の 15 分前に設定

※前の組がスタート地点への誘導時刻に、次のグループの集合時刻を設定

※各種目の集合場所をスタート地点から少し離れた場所に設置し、目印(ラップ旗等)を立て明示する。

- (3) スタート前までに着ていた衣類や履いていたランニングシューズ等は、バッグや大きめのビニール袋等に収納する。シューズの上に衣類を置くなどすると、風で散乱する可能性があるので徹底すること。また、付き添いはウォームアップエリアには入れないので、各自で管理を徹底すること。

※45 リットル程度の透明ビニール袋に氏名、学校名等を記入しておくことが好ましい。

- (4) スターティングブロックやハードル、スタートライン手前の消毒をレース終了ごとに行うことは困難である。よって、レース後は必ず手洗いをすること。

- (5) フィニッシュ後は速やかにトラックの外に退場する。腰ナンバーは、待機場所に戻った後に外すようにする。

- (6) マーシャルの誘導により、手指の消毒を行う。その後、スタート地点に自分の荷物を取りに行く。

- (7) 倒れた競技者には防護体制(マスク・手袋)をした医務員が対応する。

- (8) 給水で使用したカップは使い捨てとする。競技者にカップを渡す際は手袋を着用する。

- (9) ハードル競技の際のハードルの準備は、原則、競技役員で行う。ただし、それが困難な場合は、事前にお問い合わせした生徒で実施する。

※今までのように、多くの中学生、高校生での準備は行わない。

競技会開始後【フィールド種目】

- (1) 競技者集合から競技開始までの流れ
 - ① フィールド審判員が出場の確認をし、競技進行係に連絡する。
 - ② 競技進行係は、審判長、アナウンサー、記録情報員に連絡する。
- (2) 競技場所への集合時刻は、競技開始 40 分前とする。ただし、棒高跳は 1 時間前とする。
- (3) 待機場所における競技者同士のソーシャルディスタンスを確保し、競技役員の指示に従う。
- (4) 練習待ちのために列を作る場合は、ソーシャルディスタンスを確保して並ぶ。
- (5) 試技の前後に手指の消毒を行う。可能な限り各自で消毒液を用意する。
- (6) 競技中不用意に手で顔を触らないこと。
- (7) 終了後の手洗い、洗顔を徹底する。
- (8) 消毒、手洗いを徹底できる前提であれば、器具の共用は可能である。
- (9) 投てき物は自校のものを持ち込むことを推奨する。
- (10) 滑り止め（炭酸マグネシウムなど）はできる限り個人のを準備し使用する。共用のものを使用する場合は、競技役員がカップを用いて小分けして配付することとする。
- (11) 競技者同士の会話は極力避け、待機中はマスクを着用するようにする。

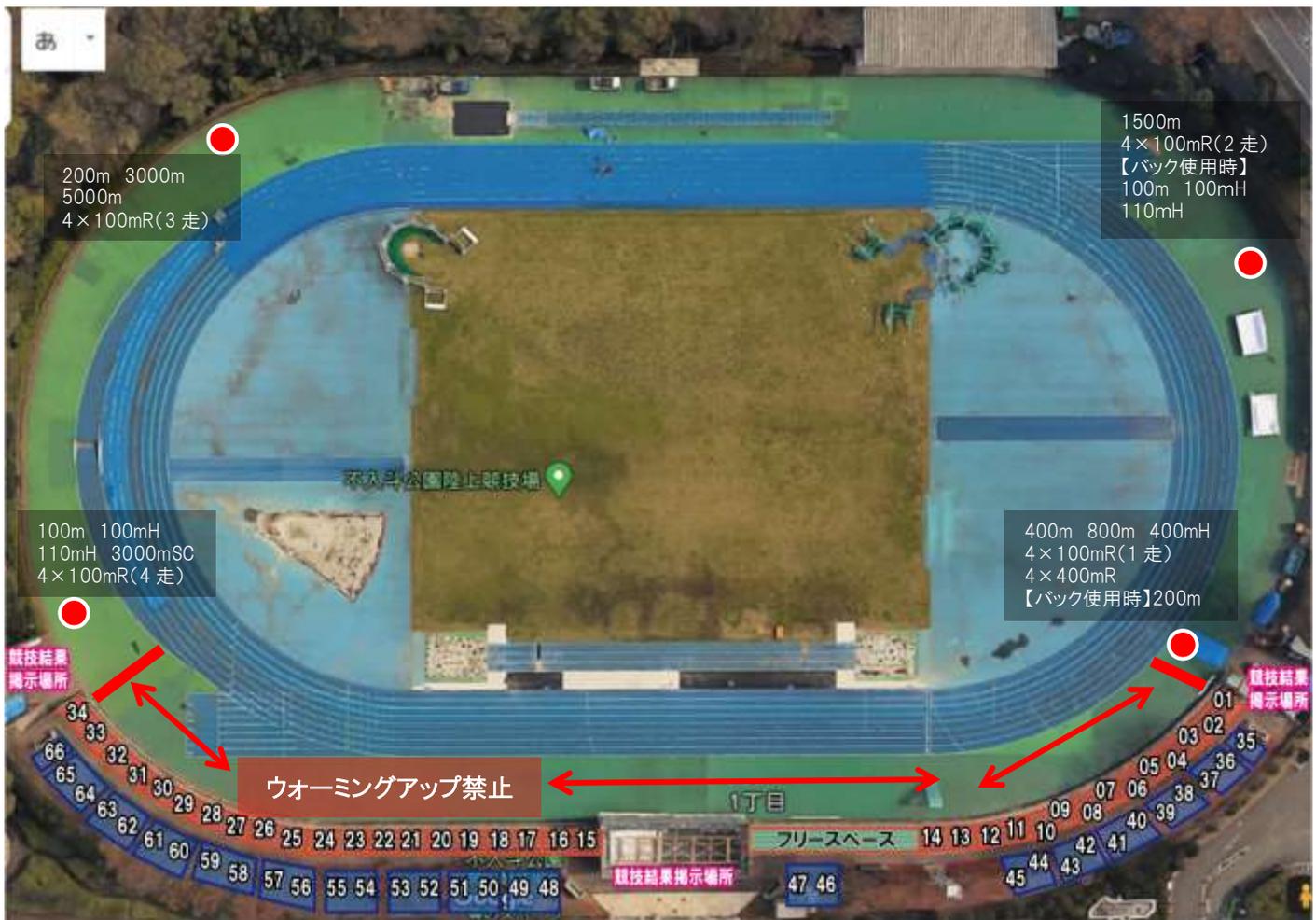
競技会終了後

- (1) 器具等の片付けは原則、競技役員および各校顧問によって行う。ただし、準備と同様に、高等学校の生徒にも協力を願う。
 - ※中学生は片付けに参加をしない。
 - ※担当は準備と同様。
 - ※器具や机、イスなどの消毒作業を行う。（原則、競技役員で行う）
- (2) 中学校、高等学校はミーティング等を簡略化し、速やかに退場する。また、帰宅する際、集団にならないようにする。
- (3) 競技会終了後の体調管理を行う。
 - ① 競技者は横須賀市陸協の HP から「【大会後】新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシート」＝**様式 3** をダウンロードし、必要事項を記入する。
 - ② 競技者はシートのチェックに該当する症状が出た場合、あるいは体調に不安を感じた場合は、保健所に相談するとともに中学生、高校生は顧問に、個人参加の方は陸上競技協会に報告をする。
 - ③ 顧問は、生徒から上記②について報告を受けたら速やかに横須賀市陸協に報告をする。

4 競技役員別の新型コロナウイルス感染症対応の役割について

	新型コロナウイルス感染症対応の業務
総務・総務員	<ul style="list-style-type: none"> ・感染者、濃厚接触者、感染疑い者が発生した際の対応を開催自治体および保健所と連携。 ・様式2の回収。
技術総務	
審判長	
競技進行係	<ul style="list-style-type: none"> ・待機場所選択順の抽選。 ・事前欠場者の集約。
アナウンサー	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイドラインで必要事項のアナウンス。
記録情報員 兼番組編成員	<ul style="list-style-type: none"> ・競技結果、番組編成結果の掲示場所増設。 ・オーダー用紙の集約。
マーシャル (場内指令)	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症対応の観点からの競技場内巡回。 ・フィニッシュ後の誘導。
医務員	<ul style="list-style-type: none"> ・競技者に触れる処置を行う場合の装備（防護服・フェイスシールド等） ・医務員は他の業務と兼任しない。
競技者係	<ul style="list-style-type: none"> ・配置なし ※招集を行わないため
庶務係	<ul style="list-style-type: none"> ・配置なし ※お弁当を配布しないため
役員係	<ul style="list-style-type: none"> ・対面で受付をする場合の飛沫拡散防止対策
表彰係	<ul style="list-style-type: none"> ・表彰は実施しない。ただし、賞状の作成は行う。
公式計測員	<ul style="list-style-type: none"> ・投てき器具の検査を行う際は、手袋を使用する。
用器具係	<ul style="list-style-type: none"> ・給水を実施する場合、手袋を用意。 ・生徒役員用に手袋を用意。
風力計測員	
決勝審判員 兼周回記録員	<ul style="list-style-type: none"> ・必要最小人数に制限。周回競技の際は、他部署より増員。
写真判定員	<ul style="list-style-type: none"> ・密閉空間になるため、定期的な換気を実施。 ・出発係と連携し、正確な欠場者の確認。
計時員	<ul style="list-style-type: none"> ・設置なし ※マーシャル、出発係の増員が予想されるため
監察員	<ul style="list-style-type: none"> ・黄旗の消毒
スターター	<ul style="list-style-type: none"> ・ピストルの消毒
出発係	<ul style="list-style-type: none"> ・集合時刻での欠場者確認と、誘導時刻でのスタート地点への誘導。 ・トランシーバーでの欠場レーンの確認と出場人数の確認。
跳躍審判員 投てき審判員	<ul style="list-style-type: none"> ・集合時刻での欠場者確認と競技進行係への報告。 ・練習時および待機時の密の回避。 ・炭酸マグネシウムの配布。
生徒役員係	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒役員として参加した生徒の氏名の把握。
腰ナンバー係	<ul style="list-style-type: none"> ・配置なし ※腰ナンバーを貸し出さないため

5 競技場レイアウト



(1) 待機場所

合計 66 区画

- ① 01～34 スタンド席 1ブロックを2分割で1区画
- ② 35～66 スタンド後方 木と木の間を2分割で1区画

(2) 競技結果掲示場所

- ① フィニッシュ地点前方のスタンド脇スペース（通常の掲示場所）
- ② 100m スタート地点後方のスタンド脇スペース（通常の招集所がある場所）
- ③ 本部ダッグアウトの後ろ（普段使用しない入退場口がある場所）

(3) メインストリート（スタンド前）はウォーミングアップ禁止

(4) 各種目集合場所

- ① トラック競技は図中の ● の場所
- ② フィールド競技は各競技場所